

コアグラゼ陰性ブドウ球菌菌血症の発生における パレプラス輸液の影響を検討するための症例対照研究 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2024 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日に山梨大学医学部附属病院で血液培養が採取され、コアグラゼ陰性ブドウ球菌が検出された方

2. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2027 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2025 年 9 月 16 日

4. 研究の目的

本研究は、パレプラス（末梢から投与できる栄養点滴製剤）の使用と、皮膚の表面にいるコアグラゼ陰性ブドウ球菌による血流感染症の関係を調べるために実施します。

5. 研究の方法

電子カルテの記録をさかのぼって確認し、集めたデータを解析します。

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ 等

試料：該当なし

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 医学部感染症学講座 鈴木 哲也

【分担研究者】

山梨大学 医学部感染症学講座 井上 修

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、感染症学講座の研究費を用いて実施します。この研究に関して開示すべき利益相反関係はありません。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

＜照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先＞

研究責任者 山梨大学医学部感染症学講座 特任准教授 鈴木 哲也

〒409-3898

山梨県中央市下河東 1110

山梨大学医学部 感染症学講座

Tel：055-273-9787